



## 待機児童解消に向けた現状と 今後の見通しについて

公明党 戸澤 幸雄

**問** 市では、昨年12月に「平成29年改訂えびな待機児童解消プラン」を策定し、これを個別計画と位置づけ、今後、平成31年までに待機児童解消を目指すとしております。待機児童解消に向けての現状と今後の見通しについて伺います。

**答（市長）**：待機児童数は昨年4月が58名と前々年から年々減少しています。定員については、昨年と本年4月1日を比較すると、過去最大規模となる334名の定員拡大が図られる予定です。それにより待機児童及び保留者数は昨年度よりもある程度減少する見込みです。

平成31年度までの待機児童解消を目指し、今後も民間との協力による保育施設の拡充に向け、鋭意取り組んでまいります。

**答（保健福祉部長）**：平成29年度中の定員拡大の取り組みは民間では認可保育所の新設として2園で150名、小規模保育施設の新設として1園で19名、公立では下今泉保育園の定員拡大で30名、合計199名となっています。さらに、本年4月1日には、民間の認可保育所の新設として2園の110名、1園の小規模保育施設の新設で19名、定員拡大の1園の6名、合計135名の定員拡大が図られます。待機児童解消プランでは平成31年度までの取り組みとして、定員60名の認可保育園2園と小規模保育施設1園の新設のほか、既存の幼稚園のうち3園が認定こども園への移行を検討しているため、これを位置付けています。

### その他の質問

・高齢者施策について



定員が120名に増えた下今泉保育園



## 安心して医療を受けられる 国民健康保険制度にするために

いちごの会 吉田 みな子

**問** 国民健康保険税の納付相談と減免制度利用の現状と、国保税の滞納についての市の考え方を伺います。

**答（保健福祉部長）**：国民健康保険税は、軽減制度はあるものの所得が少ない方やない方にも課税され、担税力の低い方が納付に結びつかないこともあります。そのような場合には納付相談の中で、納税猶予制度の説明や状況にあった納付計画を立てる対応を行っています。減免制度については、取扱要綱に基づき該当される方に説明しています。

**問** 取扱要綱には、生活困窮による国保税の所得割の減免規定がありますが、近年、生活困窮による減免利用はありません。他市では、生活困窮での減免利用が毎年数件あると聞いています。海老名市で生活困窮の減免利用がゼロというのは、周知が不十分ということではないでしょうか。

**答（保健福祉部長）**：要綱には貧困による減免という規定がございます。しかし、生活困難でかつ分納や徴収猶予に応じられない方に対して、慎重に適用していくものです。

**問** 生活困窮の基準となる最低生活費のシミュレーションでは、ひとり親世帯で、親が40歳、小学生と中学生の子どもが2人、家賃5万円の賃貸住宅の場合、最低生活費は25万円でした。シミュレーションを出してみても、多くの方が減免制度を利用できる可能性があることがわかりました。所得が低く減免制度を利用できる可能性がある方には、職員が積極的に案内できるように、世帯別のモデルケースをいくつか示したマニュアルを作ることが必要ではないでしょうか。

**答（保健福祉部長）**：要綱は減免対応ができる前提ですが、まずは分納、納税猶予など相談の中で減免も選択肢があると考えています。

### その他の質問

・連絡所等証明書発行体制再編計画における連絡所および自動交付機の廃止と証明書のコンビニ交付について



## ゴミ行政について

日本共産党 松本 正幸

**問** 市長は昨年の5月、海老名市環境審議会に家庭系ごみの戸別収集や有料化を含む減量化策の諮問を行い、同年9月に審議会から中間答申が出されました。答申はまちづくりによる人口急増は今後も続くなどで、排出されるごみの量は年々目標値との乖離が大きくなっていくという分析です。

その上で、これまで以上に踏み込んだ減量化が必要であると求め、そのために家庭系可燃物ごみの有料化などは効果があると、有料化の必要性を強調した中間答申になっています。市民の負担を伴うごみの有料化の方向ではなく、市と市民が一緒になって減量化を進めるために知恵を出し合い進めるべきと思います。

前回の定例会で市長は有料化について「1年半でできないものは、3年やってもできません。今しかない」と、私は自信をもって言えます」と明言されました。ごみの有料化の今後の方向性について市長の見解を伺います。

**答（市長）**：環境審議会から家庭系ごみの有料化や戸別収集が、有効的な施策であるとの中間答申をいただきました。中間答申についてのパブリックコメントを行うとともに、現在、全自治会を対象として順次説明会を行っています。今後も、自治会などから要請があれば、随時説明会を実施していきたいと考えています。

環境審議会から最終答申が出された段階で、市民の皆さんの声を聞きながら、最終的に判断したいと考えています。また、前回の定例会での発言は、時間をかければかけるほど世の中や市の状況も変わるので、様々な点で機会を捉えることが必要という意味です。

### その他の質問

・海老名駅自由通路のあり方について  
・総合防災訓練について

